

令和5年度政府実行計画公表資料作成業務へのRPAツール導入効果検証等委託業務  
質問回答

NO.	質問	回答
1	仕様書の3. 業務内容に「必要ライセンス(UiPath 社のStudioX)は受託者が準備し、RPA ロボットが稼働できるように設定する。」と記載されていますが、これは受託者の開発するためのライセンスを指しており、地球環境局内での実行ライセンスを新たに用意するものではないという理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおり、地球環境局内でライセンスを新たに用意するものではございません。
2	仕様書の3. 業務内容<RPA ツールの開発仕様>について (ア)③運用課題点、機能的要望点のおおよその数をご教示いただけますでしょうか。 (イ)⑤に関連して、現状のご利用になっているライセンス数、ライセンス種類(Attended、Unattended、Orchestratorなど)をご教示いただけますでしょうか。	(ア)運用課題点は2件程度、機能的要望点は16件程度です。 (イ)Ui Path StudioXの1種類のみになります。
3	仕様書の3. 業務内容<本業務で追加する仕様>について (ア)①で運用にかかわっているおおよその人員数と工数概算をご教示いただけますでしょうか。 (イ)③の追加要件のおおよその数をご教示いただけますでしょうか。	(ア)人員数は1人程度、工数概算は1人日程度です。 (イ)1件程度です。
4	以下のバージョン情報などをご教示いただけますでしょうか。 (ア)UiPathのバージョン (イ)RPA稼働端末のOSバージョン (ウ)RPA稼働端末のOfficeソフトのバージョン	(ア)StudioXです。 (イ)Microsoft Windows10 Proです。 (ウ)Microsoft 365 Appsです。
5	地球環境局内でのRPA開発をご担当されている要員はいらっしゃいますでしょうか。 もし現在いらっしゃらない場合、将来的に内製化する計画は有りますでしょうか。？	地球環境局内でRPA開発を担当している要員はおらず、内製化する計画もございません。